

無憂樹

『お釈迦さま』

熊本も蒸し暑い日が続いておりましたが、先月末に梅雨明けしましたね。夏が暑すぎないとよいのですが…最近ニュースでよく食中毒のニュースを目にします。毎年六月くらいから食中毒が増えるそうです、気を付けていきたいものです。

令和7年7月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530

浄尊寺
インスタ
グラム



@JOUSONJI

パーブアー村の熱心な信者である鍛冶屋のチユンダの家に招待されて食事をされました。出された料理は一説には「豚肉料理」または「きのこ料理」であったとされています。その料理がお釈迦さま最後の食事になります。その食事を食べられたあとすぐに激しい腹痛になられたようですが、お釈迦さまはそれでも旅を続けられました。チユンダの家を出てクシナガラに向かわれ

ます。途中何度も休憩をとりながら北に向かわれました。そしてクシナガラでお釈迦さまはそのまま入滅されました。この様子は涅槃経に説かれてあり、このことについて花園大学教授の佐々木閑氏の言葉を紹介させて頂きます。

「それにしても、偉大な宗教家であるブツダ（お釈迦さま）の死因が食中毒とはなんとも人間くさい話です。そして私は、ここが仏教の素晴らしさだとつくづく思うのです。仏教は奇跡や神秘で成り立つ宗教ではありません。ブツダという一人の人間が、悩んで迷つて、試行錯誤の末に見いだした言ってみれば、人のために人が

見つけ出した宗教です。その創始者であるブツダが、最も人らしい普通の亡くなり方をするというところに、その本質がよく表現されていると思います。」

お釈迦さまは私達に、人間として生まれてきたら縁にあえば死んでいくということを教えてください。お釈迦さまは「死」ではなく「入滅または涅槃」と教えてくださいます。煩惱が完全に滅せられた世界に入る。すなわち悟りの仏さまにならせていただくことです。

お釈迦さまが説かれた仏教の教えを大切に、日々の生活をおくりたいものです。